

## めざせ！‘ボラ充’ 関学最大ボランティアの祭典 4/12(木)、13(金)「ボランティアEXPO」

関西学院大学の学生が所属するボランティア団体を一堂に集めた「ボランティアEXPO(エキスポ)」が4月12日(木)、13日(金)、西宮上ヶ原キャンパスで開催されます。今年は15団体が出展します。

「ボランティアEXPO」は、来場者が自分の興味のある団体のブースで話を聞いたり、活動内容の展示を見ることができるイベントです。

今年のテーマは「祭り」。祭りをモチーフにおみくじなどの楽しい企画も準備し、気軽に参加してもらえる雰囲気を作ります。イベントを通して、多くの参加者が自分の居場所となる団体や活動を見つけられるようにしています。学外の方も気軽に参加いただけます。

昨年は、2日間で327名が来場しました。



■日時:4月12日(木)、13日(金) 両日とも10:30~16:50

■場所:西宮上ヶ原キャンパス G号館2階会議室1

■出展団体(15団体)

1. ヒューマン・サービス支援室 学生コーディネーター
2. 関西学院大学 宗教総部
3. STUDY FOR TWO
4. 地域フィールドワーク宝塚
5. 日本手話サークルはなまる
6. ほっとコミュニティ
7. AIESEC関西学院大学
8. 関西学院上ヶ原ハビタット
9. リーダーズカフェ/宝塚つばめ学習会
10. IVUSA 兵庫西宮クラブ
11. K.G. BrainHumanity
12. 関西学院大学YMCA
13. 学習ボランティアサークルALIVE
14. 関関COLORS
15. PENS

■その他:一般参加可、事前申し込み不要、無料

■問い合わせ:ボランティア活動支援センター ヒューマン・サービス支援室(0798-54-6061)



## 消費者の感情を科学する

### 教員紹介: 商学部 石淵順也教授



石淵順也商学部教授は、マーケティング論の中でも消費者行動における感情の働きを中心に研究しています。消費者の意思決定における感情の働きや、買い物行動、店舗・商業集積の魅力、消費者を起点にした製品開発などを研究し、消費者行動に関する国際的な比較もしています。

学内外から注目を集め、ゼミ生からは「心優しい」と評判の石淵教授はどのように考えているのか、聞いてみました。

「『問題を認識し、解決のための選択肢を探す。選択肢から解決策を選び実行する。成否の評価を行い、次回に生かす』という説明は、ビジネスの一般論の話だと思われがちですが、これは多くのマーケティングの教科書に書かれている消費者の購買意思決定プロセスの説明です。私たちはこの流れを目標に購買することはありますが、実際にこのような硬いプロセスだけで、モノやサービスを買っていると考える人は少ないでしょう。

消費者は多様で不確実な環境に柔軟に適応するため、購買や消費場面で感情を上手に使っています。私たちの多くは購買や消費を人生の最重要事項と捉えず、一つの購買に割ける時間や労力も限られています。関心が低く資源も少ないなか、現況が大まかに自分にとってポジティブかネガティブかという感情の情報は、意思決定を方向づける有用な情報です。

例えば、消費者は今、自分に良い状況だと感じればポジティブになり、周囲に目を向け拡散的思考を高めます。実際、店舗内で楽しさを感じる時、消費者は想起購買などの創造的購買を行うことが分かってきました。感情に注目することで、より人間らしい消費者行動の理論の構築を目指しています」

では、ゼミの学生にどのような学びをもって欲しいかを聞いてみると――。

「学生には、目に見えない世界を考える力を持ってほしいと思っています。マーケティングの知識も重要ですが、消費者の心の中や経済動向など目に見えない世界が、どのような仕組みで動いているのかを考える力はより重要です。社会科学の学びで培われるこの力は、社会と自分の未来を開拓するために役立つと考えています」



※今号から随時、本学の教員を紹介していきます。

次号 2018年4月13日(金)発行予定

